

## ERINA REPORT 日本語原稿 執筆要領

2026 年 5 月 12 日

ERINA REPORT 編集委員会制定

1. 原稿本文のファイルは Microsoft Word 形式 (.docx) で作成する。
2. 原稿ファイルには、以下のものを記載する。
  - ・ 著者名、所属機関、職名・職位（日本語、英語）
  - ・ 日本語のタイトル、500 字以内の日本語要旨、日本語のキーワード（5 語程度）、  
[経済系の場合は JEL 分類コード（最大で 5 つ程度）]
  - ・ 英語のタイトル、200 語以内の英文要旨（ネイティブチェックを受けたもの）、英語のキーワード（5 語程度）、[経済系の場合は JEL 分類コード（最大で 5 つ程度）]
  - ・ 本文（脚注を含む）
  - ・ 参考文献全角カッコ [] の項目は該当する場合にのみ記載。謝辞を記載する場合は、本文の後に記載する。
3. 原則として、本文の文字数の上限は 12000 字とする。これを大きく超える場合、または図表、写真を 15 点以上使用する場合は、事前に編集委員会に相談すること。紙幅の制約から次号以降の掲載となることがある。
4. 原稿は、横書きとする。本文、脚注および図表注、出典のフォントは明朝系フォントを、タイトル、章節の見出し、図表タイトルはゴシック系フォントを用いる。
5. 日本語文章は全角、英数字は半角で記載する。括弧、パーセント記号、スラッシュなどは全角とする。日本語の句読点は、全角で「、」（読点）および「。」（句点）を用いる。英語で「,」「.」などを使う場合には、その後に半角スペースを挿入する。
6. 表、図および写真の見出しは、表 1、表 2、...、図 1、図 2、...、写真 1、写真 2、...という形式で、それぞれ通し番号にし、本文中に参照する図表、写真番号を明示する。図表、写真の配置は可能な限り参照箇所近づくよう版を組むが、別のページに配置される可能性もある。本文のファイルとは別に、表やグラフの場合は Microsoft Excel 形式ファイル、それ以外の図や写真の場合は画像ファイル（JPEG, TIFF, ai 形式）を添付する。画像ファイルの解像度は、300dpi 以上とする。
7. 表および図の下に、注（あれば）と出所を記載する。

8. 脚注は、通し番号を付けたうえで、各ページの末尾に記載する。(文末脚注にはしない。)
9. 参考文献を引用する場合は、本文中に以下のように、著者名と年（必要な場合にはページ）を記載する。参考文献は、脚注ではなく、文末に一括して掲載する。

例)

- ・・・様々なルートで構想の浸透を図っている（新井、2019）。
- 山添（2020）は、ロシアの対中東アプローチについて・・・
- ・・・て活用されてきた（Lukin and Zakharova, 2017）。

直後に資料名を繰り返す場合、同上、Ibid.などで表記してください。

10. 参考文献の表記については、原則として次のように行ってください。文献に記載する情報は以下のとおりです。

- ・ 書籍：著者名、発行年、書名および副題、（発行地）（日本語以外のものに関して）、発行所名。
- ・ 論文：著者名、発行年、論文名、雑誌名、巻号、ページ、DOI。
- ・ 書籍収録論文：著者名、発行年、論文名、書籍著者、書籍名、（発行地）、発行所、ページ。

日本語および英語以外の言語に関しても、上記の情報を記載してください。

例) 以下は例示です。学術分野によって特別な慣行がある場合は、それに従った表記としてもかまいません。

#### 【日本語】

##### <書籍>

三村光弘（2017）『現代朝鮮経済 ―挫折と再生への歩み』、日本評論社。

穆堯芊、新井洋史〔編著〕（2022）『大国の中の地域経済 ―アメリカ・中国・日本・EU・ロシア』、日本評論社。

##### <雑誌論文>

三村光弘（2020）「朝鮮民主主義人民共和国に対する制裁の現状とその影響」、『国際安全保障』、第48巻第2号、pp. 2-23。

李春霞、董琪（2025）「中国の農業・食品分野におけるイノベーション ―企業データからの検証―」、『ERINA REPORT』、No. 7、pp. 16-25。

<書籍収録論文>

高安雄一、中島朋義（2018）「韓国経済の構造改革と通商政策」、河合正弘 [編著] 『北東アジアの経済成長—構造改革と域内協力』、日本評論社、pp. 143-176。

【英語】

<書籍>

Enkhbayar Shagdar (2012), *Mongolia's Economic Transition and Development Challenges: An Evidence of Poorly Managed Neo-liberal, Shock Therapy Transition and Economic Destitution*, Saarbrücken: Lap Lambert Academic Pub.

Kuboniwa, Masaaki, Yasushi Nakamura, Kazuhiro Kumo, and Yoshisada Shida (eds.) (2019), *Russian Historical Statistics for the Last Three Centuries: New Data and New Inferences: New Data and New Inferences*, Basingstoke: Springer.

※モンゴル人の著者名は、本人の名

<雑誌収録論文>

Dong, Qi (2025), “Reassessing Agricultural Investment in China: From 1952 to 2017.” *Research on World Agricultural Economy*, 6(4), pp. 568–591.  
<https://doi.org/10.36956/rwae.v6i4.1709>

<書籍収録論文>

Arai, Hirofumi (2016), “Japan-Russia Economic Relations with Emphasis on Energy Cooperation,” In: Gilbert Rozman (ed.), *Japan-Russia Relations: Implications for the U.S.-Japan Alliance*, Washington, D.C.: Sasakawa Peace Foundation, pp. 101–110.